

鉄構業界として支える、世界と戦うアスリート

業界横断型支援のご提案

2026年1月吉日

1. 荒井大輔選手の現在地と背景



プロ車いすテニスプレイヤー
荒井 大輔（あらいだいすけ）

鉄工所の息子として育った、不屈のパラアスリート

荒井選手は、東京都葛飾区にある「荒井鉄工所」を営む家庭に生まれました。幼少期からものづくりの現場で職人の魂に触れて育ち、将来は家業の跡継ぎとなるべく高専（高等専門学校）へ進学した経歴を持っています。

先天性の障がいにより2歳から義足での生活を余儀なくされましたが、26歳で車いすテニスと出会い、持ち前の精神力で頭角を現しました。その生き立ちは、私たち鉄構業界と深く通底する価値観を宿しています。

🏆 主な国際大会実績

2021年 東京パラリンピック（シングルス17位 / ダブルス9位）

2024年 パリパラリンピック（シングルス9位 / ダブルス9位）

継続参戦 グランドスラム（全豪・全米オープン等）出場

▣ 現在、2028年ロサンゼルス・パラリンピックでのメダル獲得を明確な目標に活動中

基本情報

1988年5月14日生まれ（37歳）

東京都葛飾区出身

所属：BNPパリバ

世界ランキング最高：10位

2. 車いすテニスという競技の現実と構造的課題

車いすテニスは、パラリンピック競技の中でも特に国際化が進んでおり、ランキングを維持・向上させるためには、年間を通して世界各地で開催されるツアー大会への出場が不可欠です。しかし、その活動環境には健常者のスポーツとは異なる「構造的な資金課題」が存在します。

年間20大会以上の海外転戦に伴う高額負担

✈ 移動・輸送コスト

航空券代に加え、競技用車いす等の大型荷物の超過手荷物料金や特殊な輸送保険が発生。

👥 帯同スタッフ費用

世界で勝つためにはコーチ・トレーナーの帯同が必須。自身の費用に加え、スタッフの渡航費・滞在費・人件費も選手負担となるケースが多い。

🔧 用具メンテナンス

激しいプレーに耐えるチタン・カーボン製車いすの維持費（年間約10万円～）やタイヤ・パーツ交換費用。

「強くなるほど資金が必要」という逆説

- ① 世界ランキングを上げるには、グレードの高い国際大会でのポイント獲得が必要
- ② 欧州・北米を中心とした海外遠征の回数と期間が増加
- ③ 賞金だけで賄うことは極めて困難であり、自己負担額が数百万～1,000万円規模に膨らむ

才能と努力があっても、
「資金」が挑戦の限界を決めてしまう現実

技術の研鑽、安全への配慮、そして厳しい環境下でも品質を追求する姿勢。

荒井選手の競技への向き合い方は、私たち鉄構業界が大切にしてきた精神と重なります。

次ページにて、この課題を業界全体で解決し、共に夢を追うための具体的なスキームをご説明します。

荒井大輔選手 業界横断型支援プロジェクト

荒井大輔FAB支援会による 協賛スキームと安心設計

業界横断型支援のご提案

2026年1月吉日

1. 支援スキームの概要

運営主体

株式会社INATETSUがメインスポンサーとして事務局機能を担当し、受け皿となる「荒井大輔FAB支援会」（代表：稻垣 法信）を設立・運営します。

協賛内容

一年で50,000円とし口数は任意、

二年目以降は改めて案内させて頂きます

※支援期間は夏季パラリンピックが開催される2028年7月まで

資金用途

支援会口座にて一元管理し、選手とのスポンサー契約に基づき、

競技活動（海外遠征費、帯同スタッフ費、トレーニング環境整備）に限定して使用します。

全構協 構成員の皆様へのお願い

本協賛はあくまで「任意」のご提案です。しかし、彼は葛飾にある荒井鉄工所の傍（せがれ）であり、油と鉄の匂いが染み付いた、我々と同じ現場で育った仲間です。ハンディキャップを背負いながらも世界を相手に戦い抜くその姿は、鉄の世界で生きる者同士の「誇り」に他なりません。

どうか、同じ志を持つ仲間として、彼が夢を掴むその瞬間に向けて、皆様のお力を貸してください。

協賛金 振込先

銀行名 三十三銀行

支店名 富田駅前支店

口座種別 普通

口座番号 7004412

口座名義

アライダイスケ ファブ シエンカイ

※お振込み手数料は各自ご負担をお願い申し上げます

資金管理と透明性

個人口座ではなく、支援会口座にて一元管理。スポンサー契約に基づき、適正かつ透明性ある運用を実施し、活動内容は定期的に報告いたします。

業界としての発信

本取り組みは業界専門誌への掲載を予定しており、金額以上に「業界としての意思表示」となります。若い世代に誇れる取り組みを目指します。

協賛の意義・特典

- パラアスリート支援を通じたSDGs/CSR活動
- 2028年ロス五輪に向けた長期的な物語の共有
- 協賛企業様は自社ホームページ等で支援活動として掲載可能